

2025 年 8 月 10 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 17 号 (通算 3454 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さくされている人^{ひと}を
^{たいせつ}大切に^{きょうかい}する教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ
聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい
第10主日礼拝

^{れいはい}《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも^{しちょう}ご視聴^{ばしよ}いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂^{いた}けます》

^{ぜんそう}前奏(黙^{もく}祷^{とう}) ^{ちよさくけんしょうめつ} AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね}招きの詞 ^{しへん}詩編 ^{へん}107編 ^{せつ}4-9節

^{さんびか}賛美歌 ^{ばん}21-476番「あめなるよろこび」(©教団^{きょうだんさんびかいいんかい}讚美歌委員会)

^{せいしよ}聖書 ^{しんと}コリントの信徒への手紙II ^{しょう}5章 ^{せつ}14節-^{しょう}6章 ^{せつ}2節

^{いの}お祈り

^{さんびか}賛美歌 ^{ばん}21-451番「くすしきみ恵み」(©教団^{きょうだんさんびかいいんかい}讚美歌委員会)

^{いま}メッセージ「今こそ恵みの時、救いの日」 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{さんびか}賛美歌『こどもさんびか改訂版』34番「キリストのへいわ」(©塩田^{しおたいずみ}泉)

^{しゅいの}主の祈り ^{ばん}21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

^{ささげもの}献げ物(*)

^{はけん}派遣 ^{ばん}21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

^{しゅくふく}祝福 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{こうそう}後奏 ^{ばん}アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団^{きょうだんさんびかいいんかい}讚美歌委員会)

^{ほうこく}報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に^{うけつけ}献金箱^{けんきんばこ}がございます。

「^{ささげもの}献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お^{ようい}献^{かた}げ^{ささ}ください。

招きの詞 詩編 107 編 4-9 節 (聖書協会共同訳)

⁴ 彼らは荒れ野をさまよい／不毛の地で人の住む町に至る道を見いだせず

⁵ 飢え、また渇き／命は衰え果てようとしていた。

⁶ 苦難の中で主に叫ぶと／主は彼らを苦しみから助け出した。

⁷ 主は彼らをまっすぐな道に進ませ／人の住む町に向かわせた。

⁸ 主に感謝せよ。その慈しみと／人の子らになされた奇しき^く業^{わざ}のゆえに。

⁹ まことに主は渇いた魂を^a潤し／飢えた魂を良いもので満たしてくださった。

(脚注 a：直訳「飽かせ」)

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 5 章 14 節－6 章 2 節 (聖書協会共同訳)

5：¹⁴ 事実、キリストの愛が私たちを捕らえて離さないのです。私たちはこう考えました。すなわち、一人の方がすべての人のために死んでくださった以上、すべての人が死んだのです。¹⁵ その方はすべての人のために死んでくださいました。生きている人々が、もはや自分たちのために生きるのではなく、自分たちのために死んで復活してくださった方のために生きるためです。

¹⁶ それで、私たちは、今後誰をも肉に従って知ろうとはしません。かつては肉に従ってキリストを知っていたとしても、今はもうそのように知ろうとはしません。¹⁷ だから、誰でもキリストにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去り、まさに新しいものが生じたのです。¹⁸ これらはすべて神から出ています。神はキリストを通して私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに授けてくださいました。¹⁹ つまり、神はキリストにあって世をご自分と和解させ、人々に罪の責任を問うことなく、和解の言葉を私たちに委ねられたのです。²⁰ こういうわけで、神が私たちを通して勧めておられるので、私たちはキリストに代わって使者の務めを果たしています。キリストに代わってお願いします。神の和解を受け入れなさい。²¹ 神は、罪を知らない方を、私たちのために罪となさいました。私たちが、その方において神の義となるためです。

6：¹ 私たちはまた、神と共に働く者として勧めます。神の恵みをいたずらに受けてはなりません。² なぜなら、

「私は恵みの時に、あなたに応え

救いの日に、あなたを助けた」と神は言っておられるからです。今こそ、

^b 恵みの時、今こそ、救いの日です。

(脚注 b：別訳「好ましい時」)

「自身の中の差別する心」

牛田匡牧師

聖書 マルコによる福音書 7 章 24－30 節

今回のお話は、ティルスで、一人の女性がイエス様に「娘から悪霊を追い出してください」と依頼したお話でした。しかし、イエス様はその頼みを聞くどころか、「まず、子どもたちに十分に食べさせるべきである。子どもたちのパンを取って、小犬に投げてやるのはよくない」と言われました。これは「自分はイスラエルの人々、ユダヤ教の人々を救う使命を受けているのであって、異邦人で異教徒であるあなたや、あなたの子どものことは知りません。関係ありません」ということです。「犬」というのは、古代イスラエル社会では、豚やハゲワシと並んで、ケガレている動物の代表でした。そのために「小犬」と言えども、それは相手を侮辱する言葉でした。なぜ、イエス様は、そのように言われたのでしょうか。ティルスは、大昔から繁栄していた大都市でしたので、ガリラヤの人たちにとっては「ティルスの人」というのは、金持ちで、自分たちから生産物をまきあげていく憎らしい相手という風に理解されていたのかもしれませんが。また当時のユダヤ人社会では、異邦人・異教徒を汚れた罪人とみなして、交流をしないということが当たり前でしたし、男性の足元にひれ伏して、物事を依頼できるのも男性だけでした。イエス様が異邦人の女性に対して、自分から語りかけるのではなく、語りかけられ依頼されるのは、このお話だけです。そのような非常識な女性の言動に対して、イエス様も思わず、差別的・侮蔑的な「小犬」という言葉を用いて拒否してしまったのだらうと思います。

それでも、この異教徒のギリシア人女性の「主よ、食卓の下の小犬でも、子どものパン屑(くず)はいただきます」と機知に富んだ返答によって、イエス様は、イスラエルの子どもたちだけが救われるという偏狭な民族主義、差別する心から解放されて、命の神の懐の深さ、気前の良さ、その豊かさを知り、自らの中にあった境界線が打ち壊されていきました。平和へと思いを馳せるこの 8 月。イエス様が隣人を警戒し、敵視するような差別する心から解放され、相手を大切に作る生き方へと変えられていったように、私たちもそれぞれに自分の中に差別する心、人と人とを区別し境界線を引く心、それらから解放され、隣人たちと友達になっていくことができるように。そして自分たちの身の回りから、平和を作り出していくことができるように導かれますように。全ての命を大切にされる神様と共にあって、歩みを進めて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 8 月 3 日 平和聖日

礼拝出席 大人 5 人 献金 大人 5,000 円 中継視聴者数 8 回 感謝

◎次週 2025 年 8 月 17 日（日）聖霊降臨節 第 11 主日礼拝

招きの詞 詩編 71 編 14-15 節

聖書 マタイによる福音書 9 章 35 節-10 章 16 節

メッセージ 「他人事か、自分事か」牛田匡牧師

賛美歌 21-373 番(©JASRAC)、21-405 番(©JASRAC)、21-408 番(©JASRAC)

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。
また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・8 月 14 日（木）釜ヶ崎夏祭りのために、いこいの家での「聖書を読む会」はお休みです。今回は 9 月 11 日（木）の予定です。
- ・『信徒の友』7 月号「日毎の糧」7/16 欄に当教会が掲載されましたので、たくさんの方々からお祈りのお手紙を頂きました。感謝をもって教会・伝道所・集会名を掲載いたします（未掲載分）。神和教会、甲子園二葉教会、霊南坂教会、花巻教会、西条教会、日本基督教団総幹事。どうもありがとうございました。
- ・明日 8 月 11 日（月）12 時半～20 時、12 日（火）10 時半～16 時半にかけて、関西学院大学梅田校舎（アプローズタワー10・14F、梅田駅・中津駅下車徒歩）にて、全国キリスト教学校人権教育セミナー「今、わたしにできること ーいのち・平和・人権ー」が開催されます。11 日には、川口加奈さん（認定 NPO 法人 Homedoor 理事長）による主題講演「14 歳でホームレス問題に出会って、19 歳で起業して～誰もが何度でもやり直せる社会を目指して～」と、堀江有里さん（日本基督教団京都教区巡回教師）による聖書研究があり、その後に全国交流会が予定されています。12 日には、6 つの分科会が予定されています。全国キリスト教学校人権教育セミナーは 1990 年から始まり、毎年 8 月のセミナーを継続する中で、1994 年に「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」を結成しました。以来、現地実行委員会と共に毎夏の全国セミナーを企画・開催しています。



◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
8/17	牛田匡牧師	
8/24	牛田匡牧師	おにぎり支援
8/31	牛田匡牧師	誕生者祝福式
9/6	牛田匡牧師	ユークリスト・教会を考える会

第35回 全国キリスト教学校人権教育セミナー

「今、わたしにできること
ーいのち・平和・人権ー」

2025 年 8 月 11 日（月）～12 日（火）

関西学院大学梅田キャンパス



主催

第35回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

（メールアドレス zenkirisem@gmail.com）

全国キリスト教学校人権教育研究協議会

（ホームページ <http://zenkirijunx.net>）

【開催の目的】

- ① キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、その課題を自覚し、理解を深めると共に、それぞれの現場での実践について考える。また情報交換し、助まし合う。
- ② キリスト教学校および私立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ
- ③ 人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。